



みんなの声が原動力！

原のりひこ

市政レポート 2023.9(No.12)

発行：原 紀彦 岡崎市細川町字さくら台8-3
 連絡所：〒471-0832 豊田市丸山町カバハウス 2F
 トヨタ自動車労働組合：TEL (0565)24-1111(代)
 ✉：norihikohara5219@gmail.com



原のりひこ公式サイト
 リニューアルしました！



日頃より議員活動に対し、深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

今年の夏は記録的な異常気象でしたが、ようやく秋の気配を感じられるようになりました。朝夕と日中の気温差が激しい時節柄です。お身体にはじゅうぶん気をつけてお過ごしください。

日頃の活動をレポートにまとめました。ご覧いただきご意見・ご要望などお気軽にお知らせください。

岡崎市議会 令和5年9月 定例会

提出議案 26件 報告事項12件 **全議案可決決定！**

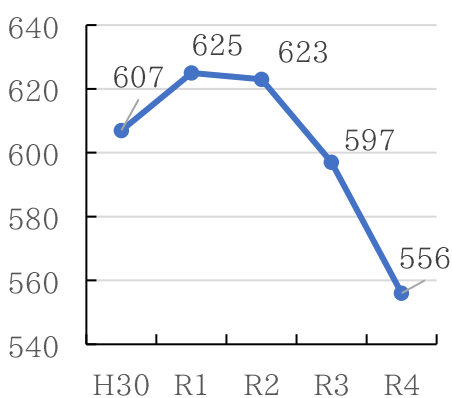


区分	承認	認定	その他	条例	予算	同意	諮問	計
議案		4	7	6	9	3		29

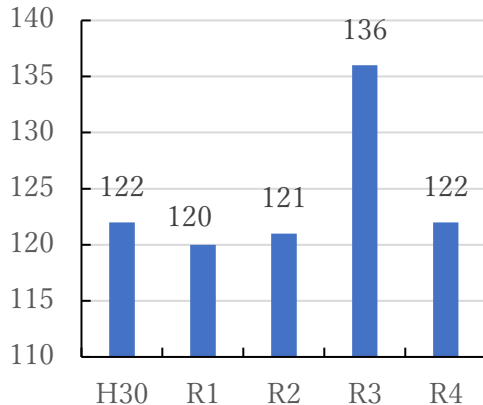
令和4年度 決算の概要

項目	歳入	歳出	純剰余金及び利益
一般会計	1,523億 3,812万円	1,429億 8,292万円	72億 4,317万円
特別会計	677億 8,507万円	657億 4,172万円	11億 1,040万円
病院事業	282億 8,532万円	253億 2,751万円	29億 4,006万円
水道事業	81億 6,060万円	70億 5,242万円	7億 8,293万円
下水道事業	92億 9,699万円	85億 8,611万円	3億 4,617万円

■市債残高の推移（億円）



■市債残高の推移（億円）



【収支】純剰余金は72億円の黒字
 歳入決算額は約1,523億円で前年度対比約31億円(2.0%)の増、歳出決算額は約1,430億円で前年度対比約23億円(1.6%)の増となった。これにより、翌年度へ繰り越した事業の充当財源を控除した1年間(1年度)の収支に当たる純剰余金(実質収支)は、72億4,317万円の黒字となった。

【貯金】市債残高は40億円の減 借金に当たる市債残高は、前年度と比較し40億円減の555億9,939万円となった。【貯金】財政調整基金は100億円を上回る残高を維持
 令和4年度末では121億63万円となった。なお、純剰余金72億4,317万円のうち、37億円を財政調整基金に積み立てることで令和5年度末残高の確保を図り、来年度予算編成に備えるほか、自然災害等の突発的な財政需要にも対応していく。



補正予算の内容を一部ご紹介いたします

自転車乗車用ヘルメット 購入補助！

令和5年4月の改正道路交通法の施行により、自転車乗車用ヘルメット着用が努力義務化されました。本市としても購入費補助を行っていましたが、予算額に達したため受付終了となっていました。この度、追加予算が計上され、さらに補助対象についても拡大されます。



◆対象「**全年齢**」に拡大

◆補助額 **ヘルメット購入費の1/2（上限2,000円）**

LED照明器具 買い替え補助！

家庭部門のCO2排出量を削減するため、家庭用の蛍光灯や白熱灯などの既存照明器具から節電効果が高いLED照明器具（ランプ単体は対象外）へ買い替える市民の方に対して費用の一部が補助されます。

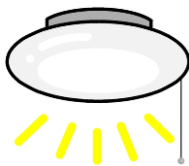
◆対象製品

- ・市内販売店で購入した新品のもの
- ・家庭で使用するもの

◆補助額

5,000円～最大20,000円

(*詳細は岡崎市HPで確認)



おかげき農業応援プロジェクト！

本市農産物や農業用資材などを購入できる「おかげき農業応援チケット」が全市民に配付され、本市農産物の消費拡大による農業者支援、及び消費の下支えを通じた生活者支援が実施されます。

◆配布品 **全市民500円券×3枚（1人当たり）**

◆利用場所

- おかげき農遊館、ふれあい
- ドーム岡崎、道の駅藤川宿、
- JAあいち三河（本店）など



一般質問「熱中症対策について」

連日危険な暑さが続いており、熱中症による救急搬送件数も増加傾向にあります。私たちの命と健康に大きな影響を及ぼす熱中症の予防や対策について確認しました。

Q 本市の公共施設で、いざという時に水分補給ができる場所は？公共施設への無料給水スポットの充足を進めるべきでは？

A クールシェアおかげき2023において指定した公共施設15施設のうち、岡崎げんき館に無料給水設備ウォーターサーバーがある。水分補給も大切な行動であることから、来年度以降、給水スポットの指定についても検討していく。



Q 学校体育館に空調機の設置を早急に進めるべきと考える。本市の見解は？

A 近年の地球温暖化に伴い日最高気温の平均が上昇し、また最高気温35度以上の猛暑日も増加傾向にあるため、学校体育館への空調機設置の必要性は高まってきている。本市としては、近年のこの異常な暑さを踏まえ、先進他市の設置状況も参考にしながら、効率的かつ効果的で実現可能な設置方法について、継続的に検討を深めたいと考えている。